


クラス	C108	担当教員	吉田直美
	テーマ	関わることでの学びと実践	
	著書・論文 研究課題等	『社会福祉士・精神保健福祉士 受験ワークブック 共通科目 2020』（共著）中央法規出版 「ドウシテダレモタスケラレナカッタノカ？」日本福祉大学経済論集第54号 2017年3月 「精神障害者・発達障害者の雇用の現状と課題」産業精神保健 2018年9月 「西日本暴雨災害被災地調査報告と今後の課題 日本福祉大学経済論集 第59号 2019年3月 近年の関心事：対人援助、コミュニケーションのあり方、介護職の人材育成、防災問題	

## ゼミナール概要

キーワード： コミュニケーション 企画力 地域

目的、内容、方法等：

◆専門演習Ⅰ～Ⅳを通しての目的

「他者との関わり」を**大切に**し、地域と「共生」することに向き合うことで、自分の果たすべき役割に気づき、自分なりの新しい生活環境をつくっていけるように努力すること。

◆専門演習Ⅰ～Ⅳを通しての目標

1. 「聴く」「話す」「読む」「書く」の、基本的なコミュニケーション能力の向上を目指す。
2. 積極的に他者と関わり、地域と関わることで「現場」でのコミュニケーション能力を磨く。
3. 自分の関心事を明確にし、自分なりに考えた行動ができるようにする。

◆授業内容・方法

1. 1分間スピーチ or レクチャー、フィードバックのトレーニングを適宜行う。
2. グループディスカッションを通じて合意形成のプロセスを学ぶ。
3. 東海キャンパスの周辺地域の探索、地域への理解を深めるために、具体的なテーマを決めての取材や収集したデータを整理し、分析する。
4. 地域を中心とした施設見学、イベント参加、ボランティア体験など、キャンパスから出て「現場体験」をし、そこから何を学んだことをプレゼンテーションし、皆で共有する。

\*2019年度活動：学祭の子供向け企画&出店（2・3年）、絵本の読み聞かせボランティア（2年）  
 経済学部バレーボール大会企画運営、東海市ものづくり道場に出店  
 東海市スポーツフェスティバルでのボランティア（夏休み）  
 東海市大学連携推進事業企画「学生&多世代交流イベント」の実施

\*毎年、集まったゼミ生のモチベーション、志向によって、その年の活動内容は異なります。自分の興味関心あるテーマを探し、積極的に責任をもって活動してもらいたいです。担当教員は、学生の学びについての側面的支援の役割を果たすものと認識しています。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
現時点では未定	<p>当ゼミをエントリーしていただくにあたって了解していただきたい重要注意事項</p> <p>（1）土日祝日、長期休暇等での学内外での活動や、ゼミにおいてもグループ作業があるので、①バイトその他の活動が忙しく時間調整・融通が利かない人、②グループ活動が苦痛な人、③臨機応変に対応を求められることが嫌な人には、大変ストレスがかかるゼミです。①～③に当てはまる人は、エントリーをご遠慮ください。</p> <p>（2）人として、真摯にコミュニケーションとる努力ができませんと、信頼関係は築けません。無断欠席する人、必要な連絡をきちんと取らない人はご遠慮ください。</p> <p>（3）他者を決して排斥せず、他者に配慮でき、自分も他者も活かし、活かされる関わりを心がけられる人を大歓迎します。</p> <p>★上記（1）～（3）を了解した上で、エントリー希望される人は、必ず「自分のセールスポイント」と「ゼミで学びたいこと」について、計2000字以上のレポートを作成し、メールでアポイントとった上で、必ず事前面談を受けてください。</p>

提出先： 経済学部事務担当 e-jim@ml.n-fukushi.ac.jp